

新着図書



● 文学

書籍名	著者名
お父さんとオジさん	伊集院 静
民王	池井戸 潤
あんちゃん	北原 亜以子
明日の空	貫井 徳郎
初陣 隠蔽捜査3.5	今野 敏
龍馬の油断 幕末七人の侍	津本 陽
母 -オモニー-	姜 尚 中
帰天城の謎	はやみね かおる
良寛	立松 和平
雨心中	唯川 恵
兄妹パズル	石井 睦美
ヤングアダルトパパ	山本 幸久
神の手 上・下	久坂部 羊
時計塔のある町	藤江 じゅん
柚子の花咲く	葉室 麟
プロムナード	道尾 秀介
世間はやかん	立川 談志
日本語えとせとら	阿刀田 高

● 歴史・郷土

書籍名	著者名
城と姫	楠戸 義昭
桂東雑記 拾遺	白川 静

● 天文・地学

書籍名	著者名
わかってきた星座神話の起源	近藤 二郎
巨大地震	水谷 仁

● ビジネス・教育

書籍名	著者名
ロングセラー商品の舞台裏	成美堂出版編集部
良い子のところが壊れるとき	山登 敬之

● 生活・食

書籍名	著者名
ポテチを異常に食べる人たち	幕内 秀夫
いつでもおいしい豆腐おかず	牛尾 理恵 栗田 美香
やさしい手相の見方	小野 十傳
人はなぜ夢を見るのか	渡辺 恒夫

新着図書は、この他にも多数入荷しています。ぜひ、ご来館ください！

図書館情報

お問い合わせ先・町立図書館 TEL32-0083

▶▶▶ 平成22年度 読書感想文コンクール 作品募集！

本を読んで心に残ったこと、発見したこと、
楽しかったこと等、自分の思いを綴ってみませんか？

町立図書館では、皆さんからの読書感想文を募集しています。次の内容をご確認いただき、ぜひご応募ください。

* 応募資格 小学生以上の町民

* 応募方法

1 作品は1人1点とし、400字詰原稿用紙(縦書き)を使用してください。

- 小学生の部(2年生以下)・・・2枚程度(または 800字程度)
- 小学生の部(3年生以上)・・・3枚程度(または1200字程度)
- 中学生の部・・・5枚以内
- 一般の部・・・5枚以内
- 家族の部・・・5枚以内(1組)

(家族の部は何人で書いてもよく、他の部門と重複して応募することができます。)

2 作品は、感想文の題名(1行目)・名前(2行目)のあと、3行目から書き始めてください。また、作品には本コンクール指定の出品票を添付してください。(出品票は町立図書館に置いてあります。)

3 作品は自作で未発表のものに限ります。

* 対象図書 教科書以外の全ての図書

* 応募期間 8月1日(日)～9月28日(火)

* 応募先 〒919-1138 美浜町河原市6-6-1
美浜町立図書館 読書感想文コンクール係
(児童・生徒の作品は各学校にご提出ください。)

優秀な作品につきましては、11月3日(文化の日)に表彰式を行う予定です。皆様からの作品をお待ちしています！

▶▶▶ 夏休みには楽しいイベントがたくさんあるよ♪

7月21日(水)～8月31日(火)の期間中、

夏休み！「このほんよんでスタンプラリー」

&「よんでみようスタンプラリー」を実施します！

いろんな本をリストアップしました。夏休みの間にたくさん読んでね。

8月22日(日)

本とあそぼう全国訪問おはなし隊

が図書館にやってくる♪

10:00～ キャラバンカーの見学

10:35～ おはなし会

たくさんの絵本と楽しいお話を積んでくるよ。(右の写真がキャラバンカーだよ。)



! この他にもいろいろな行事を計画しています。

15ページ「8月の町立図書館の催し」をご覧ください。

すこやか

放送局

健康・福祉・子育てに関する
情報をお知らせします。

あなたの地区の 「保健事業推進員」

現在、52人の方が町からの委嘱を受けて活動しており、推進員の方々には、町の健康維持・増進の中心的役割を担い、次の活動に取り組んで

平成22年度保健事業推進員 (敬称略)

集 落	氏 名	集 落	氏 名
早 瀬	平岡 輝美	宮 代	武田 健男
	渡邊 笑子	小三ヶ	安井 増治
笹 田	田辺 良子	新 庄	高木 秀秋
日 向	仙波 桂子		牧野 実雄
	渡邊 啓子	野 口	森田 安治
気 山	山口 典子	佐 野	秋山 浩一
大 藪	浅妻 佐知	上 野	前田 博信
金 山	宇都宮一子	興道寺	藪ノ内太喜
	和多田文子	雲 谷	中村 俊彦
久 保	青山 敦子	小 倉	岡崎 節子
郷 市	八木 孝子		森山 綾子
	三好美智代	坂 尻	三谷真由美
松 原	岸本三左夫	山 上	清水 優子
久々子	中畑 栞		石丸 裕子
	堀川 文子	太 田	山口 正和
矢 筈	濱岸 豊	佐 田	清水智恵美
河原市	辻 美穂		河原 幸栄
	木野 祐子	北 田	高橋 英夫
南 市	石嶋 幸枝	菅 浜	西野 正康
	田邊 峰代		西野美保子
和 田	吉長まり一	竹 波	中村 治正
	早川 正二	丹 生	田邊さとみ
木 野	大同 明子	けやき台	北条 隆志
佐 柿	山下久美子	健 康 づくり 実践者	馬野みね子
麻 生	窪 千鶴子		高木 豊
中 寺	安武 佳子		由利 幸

いただいています。

① 健診の受診を勧める

- ・ 特定健診(基本健診)、各種がん検診をご自身や家族で受診する。
- ・ 地域の方に、これら健診を受診するよう呼びかける。

② 健康教室等への参加

- ・ 健康教室やハートフルウォーク等の健康づくりに関する行事へ積極的に参加する。

- ・ 一人でも多くの人が参加できるように、地域の方に呼びかける。

③ 受診希望調査票の回収

- ・ 健診受診希望調査票の未提出者に

対し提出を勧める。

☆地区の保健事業推進員さんが、調査票を受け取りにいきます。

提出がまだの方は、早急に提出をお願いします。

④ 健康づくり計画の推進

- ・ 「健康づくり計画」の推進についてご意見やご協力いただきます。



子宮頸がん個別健診

(医療機関での検診)のお知らせ

町では、子宮がんの集団検診を都合で受診できない方を対象に、指定の医療機関で受診できる個別検診を実施しています。

早期の子宮がんは、無症状で進行することが多いので、定期的に検診を受けることが大切です。(なお、町実施の子宮がん検診は2年に1回の受診となっております)

【対象】

平成21年4月以降未受診の方

【実施期間】

7月1日から平成23年1月31日まで

【検診会場・受診日】

- ・ 県内の指定医療機関
- ・ 受診日は医療機関と個別に相談(指定医療機関については申込時にお知らせします)

【料金】 2,000円

(医師の指示により、別途検査を受けられた場合は、個人負担になります)

【申込方法】

保健福祉センターはあとびあまでお電話ください。

※お問い合わせ先

町保健福祉センターはあとびあ

☎32-3111

「おやつにひと工夫



してみませんか」

子 どもたちの大好きなおやつ。おやつの時間は、子どもだけでなく大人にとってもなんだかほっとする時間です。

ところで、皆さんは毎日のおやつをどうされていますか？手作りがよいと分かっている、なかなか時間が作れませんよね。

そこで、まずはおやつ選びからひと工夫してみませんか。味の濃いものや油っぽいものではなく、果物や無糖のヨーグルト、市販ならば乳幼児用のもの(味の薄いもの)を選んでみてはいかがでしょうか。飲み物もジュースではなく、牛乳やお茶に変えていけるといいですね。

センターでは、親子で一緒に盛り付けをしたり、お団子を丸めたりといった、簡単にできるおやつ作りを年に数回計画しています。また、他にも簡単なおやつのレシピの紹介等、親子で一

緒に楽しんでもらえるような食に関する企画を考えていきたいと思っています。

詳しくは、毎月発行しています「さくらんぼだより」でご確認ください。

親子で楽しくおやつタイムが過ごせるよう、一緒に考えていけるといいですね。



↑みんなで一緒によもぎだんごを食べました

※お問い合わせ先

子育て支援センター ☎32-0192



傷の手当の極意

転 んだ時の擦り傷、切り傷。正しい処置の方法を知っていますか。今回は、ちょっとした擦り傷や切り傷に対する極意をお伝えします。



鉄則1: 洗うこと

傷の消毒は不要です。使うのは水道水のみです。大切なのは砂や汚れ、そして目に見えない細菌を洗い流すことです。シャワーや水道口からの勢いのある流水で5分以上洗い流してください。落ちにくい砂などはガーゼなどを使って少し強めにこすり取るようにしましょう。「体にとっての異物を傷口に残さない」、この目的を忘れないでください。お風呂でシャワーすることも控えずに控えてよいのです。これまで多用されてきた消毒液は、傷口を痛めつけるということが判明し、医療機関でも消毒剤は、ほぼ使用しなくなっています。



鉄則2: 覆うこと

適度な湿り気を保つことが早く傷を治すコツです。乾燥させたり、ガーゼを充てることは傷の治りが遅くなります。覆うものはいろいろありますが、市販の傷パッドが最適です。無い場合にはサランラップでも効果が期待できます。適度な湿り気がキーワードです。

医療機関受診のタイミング

深い傷、大きい傷、出血性の傷、周囲の皮膚が赤くなってきた傷、黄色い膿うみができてきた傷は、細菌感染対策や適切な処置が必要な状態です。放置せずに受診しましょう。

※お問い合わせ先

東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

町誌よもやま話

(128)

「カナダへ渡った美浜町の人々」を読んで

文芸欄

川柳

当たり前から始まる朝の茶がうまい

岸本早苗（松原）

許しませぬ空気みたいな人だから

川尻登志子（菅浜）

コーヒーめ図りおつたな寝つかれぬ

浅田恵美子（金山）

貧乏神世襲制を守り抜く

加藤茂（河原市）

通信販売老いの秘密をひとつ買う

松井とし子（郷市）

鬼の首取ったと騒ぐヒトの群れ

田邊初穂（河原市）

ておられる方は多いと思います。

五月に発売された美浜町誌『ふりかえる美浜』の中に、「カナダへ渡った美浜町の人々」という項があります。幼い頃からカナダという地名は私にとって特別の響きを持つ地名でした。なぜなら、カナダは私の祖父母が移民として渡った所であり、父の生まれた所でもあったからです。私は吸い寄せられるようにその項を読みました。それによると、明治十年に初めて一人の日本人がカナダに渡ったそうです。それ以降、明治二十年頃から徐々に移住者が増えていきます。特に明治三七・八年の日露戦争以降、戦時中の増税やその後の不況・帰還兵の増加などで、国内で十分な仕事を得られなかった人たちが、新天地を国外に求めました。しかしその頃は、既にハワイやアメリカで移民の制限が始まっていたため、まだ制限のないカナダに労働の場を求めた人が多かったようです。福井県からも多くの人が渡りました。中でも今立郡・三方郡が最大の輩出地だったといえます。多分これを読んで下さっている方々の中にも、関係者がカナダに渡っていたという話を聞いて

私はずいぶん理由を知りたいと思っていました。ところが、この項を読んでようやくその疑問を解くヒントを得たのです。祖父は日露戦争の帰還兵でしたし、その上、農家の次男坊でしたから、戦争から戻り、どうして身を立

て行くか、悩んだ末のカナダ行きではなかったかと思うのです。どこを通じて募集が行われたのかまだよくわかりませんが、祖父にすれば、カナダに渡るまでに幾多の逡巡があったはずでしょう。煩雑な手続きもあったことでしょう。それでもカナダに渡ったのです。祖父は、幸い良い仕事や健康に恵まれ、日本から妻を呼び寄せ、家庭を持つことができました。その妻となつた祖母から、「同じ村の人とはいえ、日露戦争に出征していく姿を見たぐらいで、年上の、人柄もよくわからん、しかも遠いカナダにいる人のところへ嫁ぐんやから、どうなるか不安やった。もし何かあっても、二度と

結婚せんと、女一人であつちで生きていく覚悟やった。」とよく聞かされたものです。「女二夫に見えず。」を地で行くつもりだったようです。

だれしも生きている時代の制約から逃れて生きることはできません。それでも、その時代の環境や立場を背負って必死に生きていきます。そんなことを、この「カナダへ渡った人々」からも垣間見ることができました。このように知らなかった多くのことを、美浜町誌『ふりかえる美浜』は伝えてくれています。是非一度皆さまの手にとってご覧頂きたいと思えます。

（美浜町誌編集委員会委員

中西紘子）

カナダに渡っていたという話を聞いて

ておられる方は多いと思います。



↑カナダから日本へ報告する写真（大正2年）

※お詫びと訂正

広報みはま（7月号）の「町誌よもやま話」のページで、写真の説明を「太田山崎家正月の飾り物」と掲載しましたが、正しくは「太田山口幸一郎家正月の飾り物」でした。

関係者の皆様方にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正させていただきます。

